

一般質問(要旨)



議員 二川 英俊
民進党
ひたちなか市選出
一括方式

ひたち海浜公園の整備

議員 現在のひたち海浜公園整備・管理運営プログラムは今年度までの計画となつているが、今後、国に対して公園の整備をどのように働き掛けていくのか。

土木部長 国の次期プログラム策定に向け、自然環境の保全・保護を図るとともに、増加する外国人観光客への対応なども重要と考えている。国内外からより多くの方々が訪れ楽しんでいただけるよう、意見聴取の場などあらゆる機会を通じて働き掛けていく。



議員 先崎 光
自民党
いばらき市選出
那珂方式

茨城県北芸術祭の今後の在り方

議員 芸術祭について、今後も継続してほしいと考える。芸術祭を続けていくとすると、どのような方法があるのか。例えば、開催間隔や事業費などについての所見は。

企画部長 茨城県北芸術祭を今後継続して開催するかどうかについては、今回実施した成果や課題などを踏まえ、開催間隔や事業費を含めた実施方法について、地元市町や関係者の方々と十分議論しながら検討を進めていく必要があると考えている。

茨城港を活用したクルーズ船の誘致

議員 首都圏に近く、北関東の海の玄関口としての立地を生かし、茨城港を活用したクルーズ船の誘致にどのように取り組むのか。

土木部長 関係部局や団体が連携し全県的な取り組みとして海外クルーズ見本市への参加などを通して、本県の自然や歴史、伝統工芸など多彩な観光資源の魅力や地元の熱意などをPRすることで、茨城港へのクルーズ船誘致に取り組む。

(ほかに、市町村が行う災害対策への対応、ワーク・ライフ・バランスの取り組みなども質問)



常陸那珂港に初寄港した「飛鳥II」出港時の様子

小規模校を地域に残すための支援

議員 小規模でも生き生きと子供たちが育つことのできる環境づくり、学校存続を目指す地域への支援は大切と考えるが、所見は。

教育長 学校は、地域の象徴であると同時に地域コミュニティの核としての性質を有していると考えられる。今後とも、学級数の少ない学校の教員配置の充実に努めるほか、特色ある取り組み事例を市町村と共有し、小規模校に通う児童生徒の教育環境の充実を支援していく。

(ほかに、国道一八号那珂大宮バイパス整備推進なども質問)



小規模校における授業の様子



議員 八島 功男
公明党
土浦市選出
一括方式

茨城県総合計画と首都圏広域地方計画の意義

議員 首都圏広域地方計画におけるキーワードである「対流」と「連携のかたまり」の考え方は、茨城県総合計画において、どのように生かされているのか。

知事 県計画においても、「連携のかたまり」からさまざまな「対流」が創出されるという考え方を、県の施策展開に生かし、企業誘致による産業拠点の形成や効率的な物流体系の構築に取り組むなど、地域内外の人・もの・情報の「対流」を促進することとしている。



議員 石田 進
自民党
いばらき市選出
神栖方式

鹿島労災病院の機能の維持

議員 「鹿島労災病院と神栖済生会病院の今後のあり方検討結果報告書」では、両病院を再編統合し、鹿島労災病院は撤退の方向が示されているが、労災病院機能の維持については、どう取り組むのか。

知事 労働災害などに対応した医療機能を済生会が引き継ぐこととなる。今回の再編統合は、両病院の脆弱な診療体制や厳しい経営状況を打開し、地域に必要な医療機能を残し、医療体制の充実と強化を図るためのものと認識している。

つくば霞ヶ浦りんりんロードの本格稼働

議員 オープニングイベントの開催をはじめとした、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の本格稼働への取り組みは。

企画部長 オープニングイベントの開催については、関係者と調整を図りながら準備を進めていくほか、サイクリストのおもてなしについても、一層の充実を図っていくなど、サイクリング環境の構築に向けた取り組みを進めていく。

(ほかに、インフラのストック効果、災害廃棄物処理計画の策定なども質問)



新たに名称が決定した「つくば霞ヶ浦りんりんロード」

大規模災害対策調査特別委員会

大規模災害対策の在り方などについて活発に議論

大規模災害対策の在り方などについて調査・検討するため設置された「大規模災害対策調査特別委員会」(細谷典幸委員長)では、これまで四回の委員会を開催し、精力的に議論を行ってきた。



第一回委員会(五月開催)および第二回委員会(六月開催)では、災害対策に係る法制度や本県の防災体制、近年の大規模災害の状況などについて審査を行うとともに、災害関連の研究や検証などに携わられた学識経験者の方を参考人として招き、行政に求められる災害対策などについて意見聴取を行いました。

また、第三回委員会(八月開催)では、第二回委員会に引き続き、県で実施している主な災害(防災)対策などについて、関係する部局から説明聴



さらに、九月に開催した第四回委員会では、これまでの審査内容を整理し、提言の取りまとめに向け、大規模災害対策の在り方などについて幅広く意見交換を行ったところです。

委員会では、大規模災害発生時の被害を最小限に食い止め、県民の安全・安心を確保できるよう、引き続き、審査を進めてまいります。